

2020年 8月 京橋 おかげさま 通心

『はたらく』 就労移行支援事業所 きょうばし
 『くらす』 生活訓練施設 加光



スタミナ抜群の「うなぎ」が美味しい、夏の季節の到来です。この度、「京橋のものづくり仙人さん」のご厚意で、「天然うなぎを楽しむ会」が開催されました。仙人さんは2ヶ月も前から準備を開始。うなぎ釣りから当日は正真会スタッフが調理補助をしつつ、うなぎを捌いて焼き、最後は仙人さん秘伝のタレをとろり。こうして、天然うなぎの蒲焼きと白焼きの豊かな味わいを、存分に堪能。皆さん、「こんなに美味しいうなぎは初めて！」と大喜び。仙人さんから「喜んでもらえてただただ嬉しい」とのお言葉を頂戴しましたが、こちらこそ感謝の気持ちで一杯です！いつもありがとうございます！

●施設紹介●

加光

ショートステイについて



人生に行き止まりはありません。道はどこまでも続いていますし、探せば様々な道があるものです。立ち止まって途方に暮れる事もありますが、まずは、「小さな一歩」を踏み出しましょう。その小さな一歩から始めて歩き続けることが、とても大切なことです。

加光の「ショートステイサービス」は、まさにそうした「小さな一歩」を実現する短期入所サービスとなります。期間は1泊2日～2週間まで。「心身のリフレッシュのために」「崩れた生活リズムの立て直しに」「疲れた心を癒すために」など、使い方はどのようなものでも構いません。ショートステイと現在の仕事を併用していただくことも、まったく問題ありません。ご要望や目的に合わせた使い方のご相談が可能です。

何も考えられないほど慌ただしい日常を暮らしている方、あるいは袋小路に入ってしまった生活を送られている方などは、何から手を付けて良いのか、どこから一歩を踏み出せば良いのか、誰に相談したら良いのか、それらがすっかり分からなくなってしまったものです。どうぞ、私たちにお話を聞かせてください。自分のリズムを取り戻し、自信を持って生活や仕事ができるようになる道を、一緒に探していきましょう。



「加光」の施設見学会のご案内
 ★8/27(木)・9/10(木)★
 (毎月第2/第4木曜日)
 毎回 10:40～12:00
 TEL 06-6351-8668
 FAX 06-6351-3666
 メール kakoh8668@shirt.ocn.ne.jp

「天然うなぎを楽しむ会」 開催について



京橋のものづくり仙人さんと共に企画した「天然うなぎを楽しむ会」を開催していただきました。夏のお見舞い申し上げます。皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの再燃、度重なる豪雨災害や猛暑など、自然の厳しさを改めて知る歴史的な夏となりました。霊長類学者の山極寿一さんは「近年のウイルス性の感染症は、自然破壊によって野生動物との接触が加速したことが原因である。更に自然資源の開発が続き、深海や氷河の下に眠っている未知の微生物やウイルスを、引きずり出してしまいかもしれない」と今私たちに必要なのは、グローバルな地球と国の動きと、私たち自身の身近な暮らしの双方で、人間にとって大切なことは何か、一人ひとりの生き方や暮らし方の実践が未来へとつながることを強調したいと思えます。



「明確なゴールイメージを共有し、共に進む」

管理者 寺村 肇



私たちの正真会の目指すゴールは、人の多様性を尊重し、互いを活かすことのできる社会を創ることです。言い換えれば、何らかの病や障がいなどにより、生きづらさや働きづらさを抱えた人々を一人でも減らすことも言えます。全ての人が活躍する未来へとつながる今日一日が、その一瞬が真剣勝負の待ったなしです。二度とない今日を生きる彼らも、私たちも、皆さんも、みんなで素晴らしい未来を創るという責任を果たしましょう。

地域がつながるプロジェクト

今月のイベント

10月より再開の予定です

「きょうばし」見学会のご案内

8月27日(木)●10:00～12:00
 9月10日(木)●10:00～12:00
 (毎月第2・第4木曜日を予定)

上記日程にて、就労移行支援事業所きょうばしの見学会を開催致します。ご利用をお考えの方、企業の皆様、職員応募をお考えの方など、どなたでもご参加いただけます。お申し込みは、お電話にて、またはFAX・メールにてご希望の日にお名前とご連絡先を記入しお送り下さい。(※本件以外でこちらからご連絡することはございません。)

TEL 06-6357-7007
 FAX 06-6357-6665
 kyoubashi@kind.ocn.ne.jp
 HPのお問合せメールフォームからも可能です

お待ちしております。

8月 就労移行支援事業所きょうばし 企業見学会
 8/20(木) 大阪市平野区 (株) L I G 様
 Check http://www.kirameki-lig.com/

正真会 法人理念
 誰もが人として暮らし、人としての喜びを感じられる社会を創造します。
 人の歩みを共に喜び、共に学び続けます。

正真会は 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も
 SDGsの項目で次の持続可能な開発目標を掲げています

月刊「京橋 おかげさま 通心」
 〒534-0024 大阪市都島区東野田町5-5-16 (法人本部) 電話 06-6351-8668(代表)
 FAX 06-6351-3666 正真会ホームページ
 発行元 ● 社会福祉法人 正真会 www.syoushinkai.com/
 発行責任者 ● 寺村 肇
 制作・編集 ● NPO法人 チャレンジステージ

コラム

「商店街と町会との連携が京橋を支える」

社会情勢の変化にコロナ禍の打撃。歴史と伝統の中に、温かな人のエネルギーと共に成長してきた京橋の商店街も、現在は苦戦気味です。しかし、このような時だからこそ、商店街には出来ることがあります。「不運を掴んだら、恐れるものは何もない。改善策を考えるだけで良いのだから」、これはドイツの諺です。運命を嘆くよりも、今、何が出来るかを、商店街全体で考えるべき時です。京橋の魅力と底力は、何と云っても「人の絆」ですね。商売人と街の人々の強い絆をもとに、お互いに成長する。それが、京橋の歩むべき道です。つまり、「商店街と町会との連携が京橋の繁栄を支える」という点が、これから先の重要な鍵になると考えられます。例えば、旧国鉄の貨物線跡地を緑化遊歩道として整備し、市民の憩いの場を創出したという成功事例は、将来的な商店街のあり方に一石を投じています。国道1号線沿いの入り口に設置した古代ローマ風の「真実の口」も、大阪のランドマークとして注目を得ています。商店街の利益に直接関わるものでなくても、町会との連携によって、地域文化の全体を底上げする活動を積極的に展開する。その一手の積み重ねが、やがて明るい未来に繋がるものだと、私たちは確信するのです。



左: 桜宮連合第14町会 会長 松井幹雄氏
 右: 新京橋商店街振興組合 理事長 岡本享一氏

編集後記



◆ 自身の経験を重ねつつ、皆様にお伝え出来る事があります。それは、「あなたがやりたい事を選ぶのではなく、あなたが出来る事で勝負して、選ばれる人になるべきである」という事です。自分に出来る事の正確性とスピードを、積極的な姿勢で高め続けると、それがあなたの価値と評価に繋がります。あなたの得意な「できること」を把握し、その価値を磨き高める努力を、誰にも負けないくらい行なって下さい。それは必ず、あなたの歩みと前途を明るく照らしてくれず、必要としてくれる人があなたを見る契機にもなります。人生というのは不思議なもので、そうして自分の価値を発揮して働けるようになりますと、それが自然と「やりたかったこと」へと紡がれていくのです。就労を目指し、日々奮闘されている利用者の皆様へ、改めて今回の言葉を贈りたいと思います。◆ 今月もお読みいただき、ありがとうございます。

NPO法人 チャレンジステージ 代表理事 山下 勇雄



株式会社バーテック様 <https://burrtec.co.jp/>

Check

企業見学会

7月16日、バーテック様の見学会が行われました。第1部では、まず末松社長から会社概要の説明がありました。「プランを売るのが目的の会社ではなく、プランを通じて、お客様の困りを解決したい、社会の課題を解決したい」という思い、その想いを実現する為の徹底した開発へのこだわりを聞きました。「ドアの下に取り付けるねずみ対策プランを開発する為、実際にネズミを投入。ネズミ達がかたびれないようにしっかりとお世話をしながら、金属素材や強度の試行錯誤を続けた」という制作秘話に、参加者の皆さんも興味津々でした。その後、2階3階の事務所見学を行っています。

甲斐のある環境作り」を担当されています。山田さんが行っている仕事は、大変な点も多いそうです。限られた資源と時間の中で、会社の中で「本当に使えるもの」を、ゼロから作らねばならないと言います。ただ、山田さんはその中で経験や技能が自分の成長に繋がるとして、大きなやりがいを持たれています。「今後の目標は、ITという技術世界を通じて、その中で自分ができることを考えていき、物心両面の幸福を目指しながら、お客様の安心した取引を追求していきたい」と語られました。



末松社長、幼少の頃からのお話



社内見学

熱のこもった社長のお話



山田大貴氏のお話



プラン制作秘話を語る社長



最後にガッツポーズで記念撮影

次回開催★8/20(木) 大阪市平野区 (株)LIG様 <http://www.kirameki-lig.com/>

えむカフェ

健康な暮らしを応援する「えむカフェ」に、あなたも参加してみませんか？
お茶を飲みながら、心や体の健康について、暮らし役立つアイデア話など、井戸端話ならぬ「えむばた話」で盛り上がりましょう！

コロナと暮らし ~情報編~

それってほんと!? テレビやネット報道の読み解き方を徹底解説いたします！

←オンライン参加はこちら
(QRコードを読み込み、下部ID/パスを入力)
ミーティングID 818 8701 0598
パスワード 907358

申込不要 参加費無料 途中参加OK

令和2年9月10日(木)
14:00~15:30
場所:Cafe まぼろば
都島区東野田町5-5-1
主催:えむカフェ実行委員会



7月開催からオンライン参加も可能になりました

イベント紹介

今月のひと ●OB・OG紹介 ■Aさん

就労移行支援事業所きょうばしとの関わりのキッカケは、母でした。勤めていた会社を退職した際、母がきょうばしを紹介してくれたのです。給食事業や事務など、実際に色々な訓練場面で経験が得られるので、自分に合っていたと思います。面談では厳しい話もありましたが、自分の事を知る良い機会になりました。

その後、きょうばしからの就職は今回で2回目です。1回目の就職でも様々な学びがあったのですが、キャリアアップを望めないという現実がありまして、きょうばしのスタッフさんとよく話し合い、転職を決意したのです。再就職を果たす事は楽な道のりではありませんでしたが、とても大切な時間だったと思います。

「働く」というのは、「まともさ」が得られる行為だと思います。自分が社会から、周囲の人たちから必要とされている。そうした自己肯定感がある程度、得られるものです。この「まともさ」は、私の仕事のモチベーションになっていると思います。賃金の量的な評価ではなく、人生そのものの評価、という感じがします。

「まとも」じゃなかった時期で、誰から責められるという事は無かったのですが、自分を追い込むような事がありました。自分には見えないプレッシャーを感じやすいタイプなので、ひとまず今の「まともさ」がちょうど良い感じです。正直なところ、責任ある立場になりたくありません(笑)。ひとまずは自分の役割をしっかりと果たせる自分を、これからもコツコツ、地道に続けていきたいと思っています。



スタッフ紹介



入職時期 2014.5
名前 赤嶺 英俊
担当部署 生活訓練施設「加光」
生活支援員

正真会に入職しまして、6年が経ちました。入職のきっかけとなった出来事や状況は、いろいろなものがありました。まずは、新しい人が精神の病を抱えていたこと。そうした病から立ち直る支援をしていく場所があるということ、何となくは耳にしていまいたが、しばらく私とは直接の関わりがない世界だと思っていました。しかし、その後、私自身も精神的に追い込まれる状況になったこともあって、興味のある精神保健福祉士の資格を取り、それを活かせる職場を探し、正真会へたどり着きました。

仕事の内容は、本質的にはとてもシンプルなものだと思います。まずは、利用者さんの声と心に耳を傾けます。そこで、利用者さんが抱えている課題、困っていること、目指している場所、やりたいと思っていること、身に付けたいと考えているもの、こうした点をしっかりと受け止めるのです。次に、私はそれらの課題が解決したり、目標が達成できるように、利用者さんに寄り添って支援をしていく。これが、仕事の全てだと思います。

地域に出て頂いた、何事もなく日々を過ごして頂いた。そうした話を聞けることが、私にとって大きな喜びとやりがいに繋がります。大変さを感じる事も多い仕事です。特に私の場合、自分自身の判断の軸がブレてしまい、即決ができないことが多くあります。利用者さんが、より大きなやる気と行動を得られるよう、今後は発言や行動に、明確な意味と根拠をしっかりと持って仕事ができるよう努力していきます！

社長・社員の「働くとは? 仕事とは?」



株式会社バーテック
社長 末松仁彦氏

<https://burrtec.co.jp/>

幼少時代の私は、少年野球を一度挫折しかけたのですが、父の協力で地道に努力を続けて、最終的には自分が満足できる成果を得る事ができました。そんな父から学んだ「努力の積み重ねが道を拓く」という哲学が、今も私の糧となっています。そうして、私は3代目、27歳で社長を引き継ぐ事になります。「働くこと」を努力を積み重ねて道を拓くこと。振り返ってみても、この法則には間違いがないと思います。では、働くことの「意義」とは何でしょうか。それは自分の得意なことや強みを活かして、一緒に働いている方や社会のお役に立つことだと思っています。一生懸命に、人の為、社会の為に取り組むことが、自分自身への成長と喜びに繋がります。弊社はその信念を会社経営に反映し、GPTW日本における「働きがいのある会社2020」の13位に選出される栄誉を頂いています。

ここに、弊社の重要部署を担う女性社員の話があります。彼女は数年前にがんを患いました。治療を繰り返しながらも、可能な限りの仕事を続けています。仕事をしなくても良いという選択があるのですが、彼女の為に活かしたいと考えているのだと思います。自分の時間、自分の命を、誰かの為に使う。それが、自分の為にもなりません。働くことの意義が、そこにあるのかもしれません。

働き方は、本当にいろいろです。その人にはその人の個性や才能があります。人それぞれの多様性と可能性を活かせる環境づくりが、今の社会には必要だと思います。

正真会サポートチーム「FSST」Vol.5

一般社団法人panse
代表理事 松尾直樹氏



一人一人の本来性を大切に、全ての人々が輝ける組織・社会づくりを目指して、人材サポート業、キャリアコンサルティング、大学生の就職活動支援、キャリア塾の運営を行っています。

正真会サポートチームとして、昨年度はスタッフの方々のキャリア面談、今年度はスタッフの方々一人一人の志を実現するキャリアパスや人事制度構築をサポートしています。

<http://pensee.or.jp>

今月の利用者さん Uさん



東日本大震災で被災した後、小学4年生の時に大阪へ来ました。利用は、2020年4月からはじめました。利用のキッカケは、兄と姉が、就労する前に訓練事業所を利用していたからです。話をよく聞いていたので、自分もそれに合わせていきたいと思っていました。

高校を卒業して、すぐの利用という状況でした。働きたい意欲は強かったと思います。働かないと生きていけないという考えがありましたから。体験利用は2週間。その時に何か得られた感じがしましたので、そのまま本利用を決めました。今のところは、日々、洗濯業務に集中しています。同じ作業ですので、特に難しいことはなく、安心してステップを踏んでいます。今は9時~12時、3時間の利用状況です。

ここに来てから、少し「働く」ということへの考えが変わりました。最初は、「生きる為に働かねばならない」という義務でした。しかし、今は「人生を楽しむ為に、働きたい」という希望が変わっています。それなりのお金は必要なので、やはりある程度は義務でもあります。それ以上に、仕事も生活も、一日一日楽しみを見つけて、その日その日大事にして、生きていこうという気持ちです。

先日、見学会に参加して、人の為を思って仕事をするのは大切なんだと学びました。今後は、誰かの為に、という考えを広げられると、自分にとって良いような気がします。そうした考えの変化、成長が出来て、きょうばしに来てよかったです。

読者様の声募集 本誌のご感想、京橋への想い、こんな情報を知りたい! 取り上げてほしい話題などをお寄せください!

06-6357-6665 kyoubashi@kind.ocn.ne.jp